



野畑証券研修教材
チューリップバブル
の真相について

2023.10.26 (木)

チューリップ・バブルとは

○呼称（世界3大バブルの一つ）

チューリップ・バブル

蘭: Tulpenmanie

英: Tulipomania

= **チューリップ狂時代**

チューリップ熱狂

A Satire of Tulip Mania 作ヤン・ブリュゲル
（「チューリップマニアの風刺」 1640）



一般的定義と特徴

○17世紀オランダ黄金時代にトルコから移入されたチューリップ球根の価格が異常に高騰し、突然に下降したまでの期間（1636-1637）を指す

特徴

- 資産価値がその内在価値を逸脱し、大規模なバブル経済状況
- 記録に残された最初の投機バブル、またはバブル経済 **典型的バブルと通用**

チューリップ価格高騰

当時の物価

銀製のカップ

= 60フロリン

≒ 10万円

熟練労働者の年収

= 150~350フロリン

≒ 35万円

太った豚8頭

= 240フロリン

≒ 40万円

○マッケイ（1841）によれば、

「Semper Augustus」（無窮の皇帝）の球根1個に対し、

12エーカー（5ヘクタール）の土地との交換が申し出られた。

= 10,000フラン

≒ 1億6千万円

Semper Augustus (無窮の皇帝)

最高値1億6千万円



Goods amount for a single "Semper Augustus" bulb	
Goods	Guilders
48 tons of rye	558
A ship	500
4 fat oxen	480
44 tons of wheat	448
8 fat pigs	240
2 tons of butter	192
12 fat sheep	120
1,000 pound of cheese	120
A complete bed	100
A pack of clothes	80
2 hogheads of wine	70
A silver drinking cup	60
4 barrels of 8 guilder beer	32
Total	3,000

VICEROY (副王)



最高値7千万円

Goods amount for a single "Viceroy" bulb	
Goods	Guilders
4 lasts of rye	558
4 fat oxen	480
2 lasts of wheat	448
8 fat pigs	240
2 tons of butter	192
12 fat sheep	120
1,000 pound of cheese	120
A complete bed	100
A pack of clothes	80
2 hogheads of wine	70
A silver drinking cup	60
4 barrels of 8 guilder beer	32
Total	2,500

Viceroyの球根1個と交換されたといわれている財産（合計額2,500ギルダー）

肥えた牡牛4頭	480	バター2（500ガロン）	192
肥えた豚8頭	240	チーズ1,000ポンド	120
肥えた羊12頭	120	ベッド（完成品）1台	100
ワイン2大樽	70	衣服1揃い	80
ビール2（500ガロン）	32	銀のカップ1個	60

チューリップ・バブルに関する映画

○映画『ウォール街』（Wall Street）は、1987年のアメリカ映画 大ヒット 影響大

○主演のゴードン・ゲッコーが、チューリップバブルを話す。話題になったセリフ

Greed is Healty

Money never sleeps

Buy my book

○映画『チューリップ・フィーバー 肖像画に秘めた愛』（Tulip Fever）は、2017年のアメリカ・イギリス合作の映画

○評判にならず、興行失敗

ウォール街



チューリップ・フィーバー



ボードゲーム日本語版 (参加者3~5名)

「チューリップバブル」 4,400円

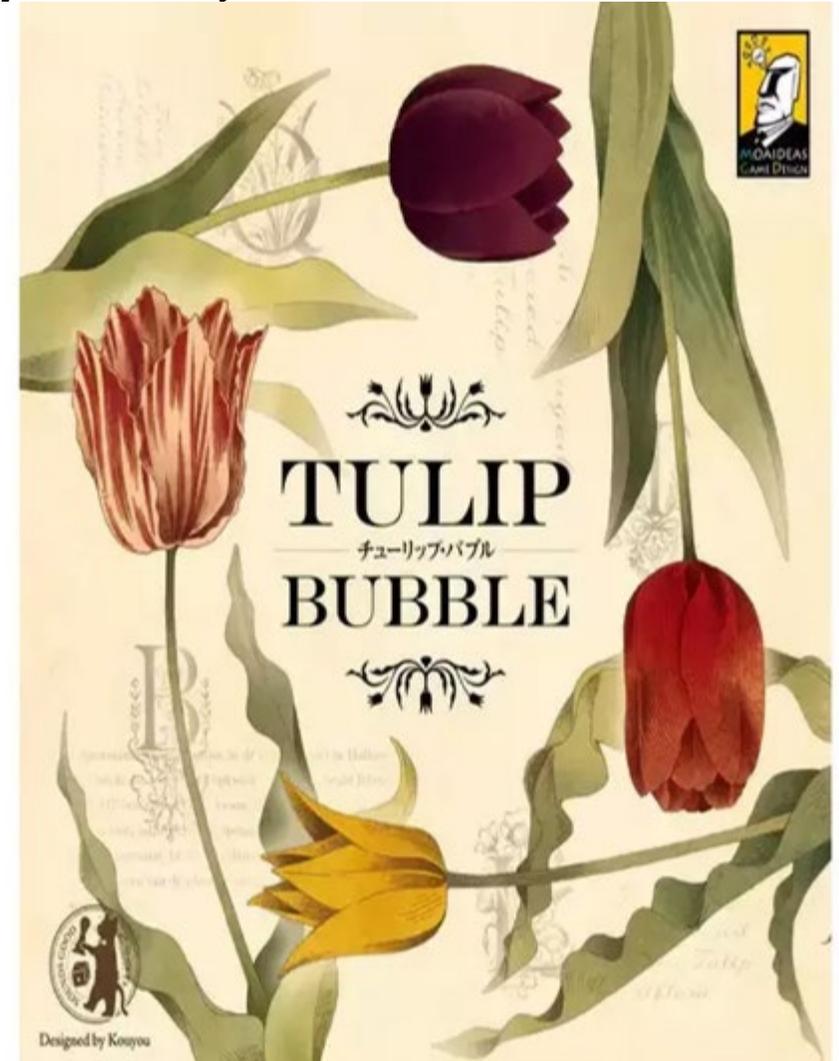
実際にオランダで起こった投機バブルを体感しよう！

1636年、オランダでとある事件が発生しました。

その事件において、無限の利益と尋常ならざる富への幻想に目がくらんだ人々は、投資市場バブルがいかに迅速に拡大し、はじけうるのかを、知らしめられたのです。

あなたはチューリップ市場への投機で儲けるだけでなく、貴重な球根を売りつけるべき裕福な収集家も探していました。

ほんの短い期間で、高値が別の色のチューリップに移ってしまうこともあります。



ほぼ全財産を注ぎこんで買った球根が、翌週には無価値になるか、あるいはその季節の間ずっと値上がりを続けて購入価格の何倍にもなるかもしれないのです。けれど忘れないで。原石ともいえる手元のチューリップのもたらす富は、実際に手放すまでは、単なる幻想にすぎないのですから。

あなたはこのチューリップ狂時代の哀れな犠牲者となってしまうのでしょうか？

それともバブル崩壊後もポケットにしこたま金銭を貯めこんで生き残ることができるのでしょうか？



カード



チューリップ・バブルのポイント

○背景と歴史

内訳

- ・オランダのチューリップ・ビジネス
- ・投機の時期

○入手可能な価格データ

○マッセイの「群衆の狂気」

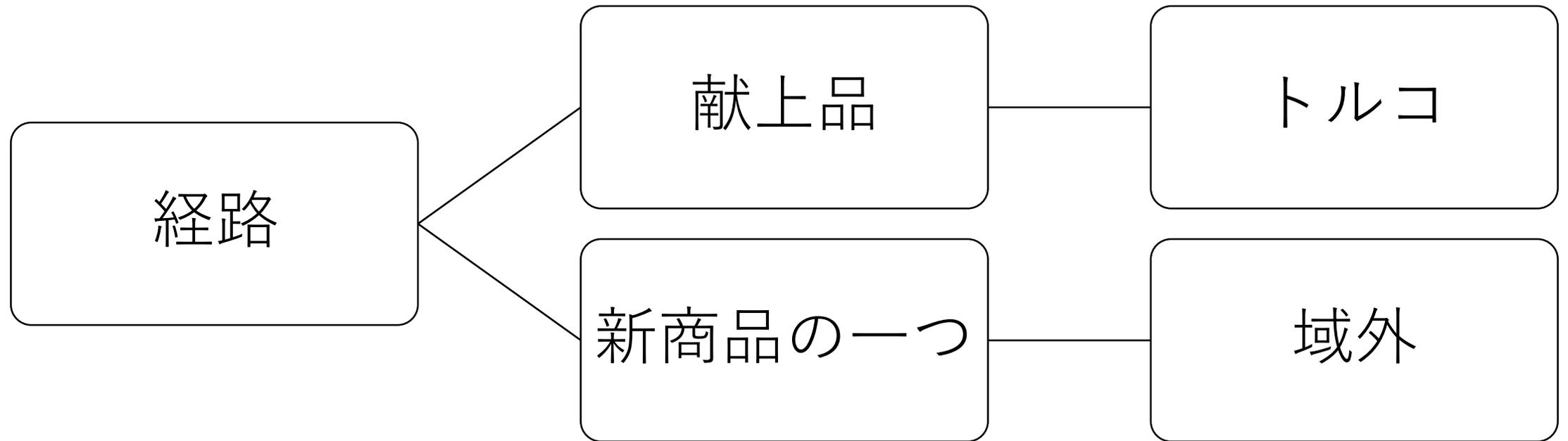
○現代の見解

内訳

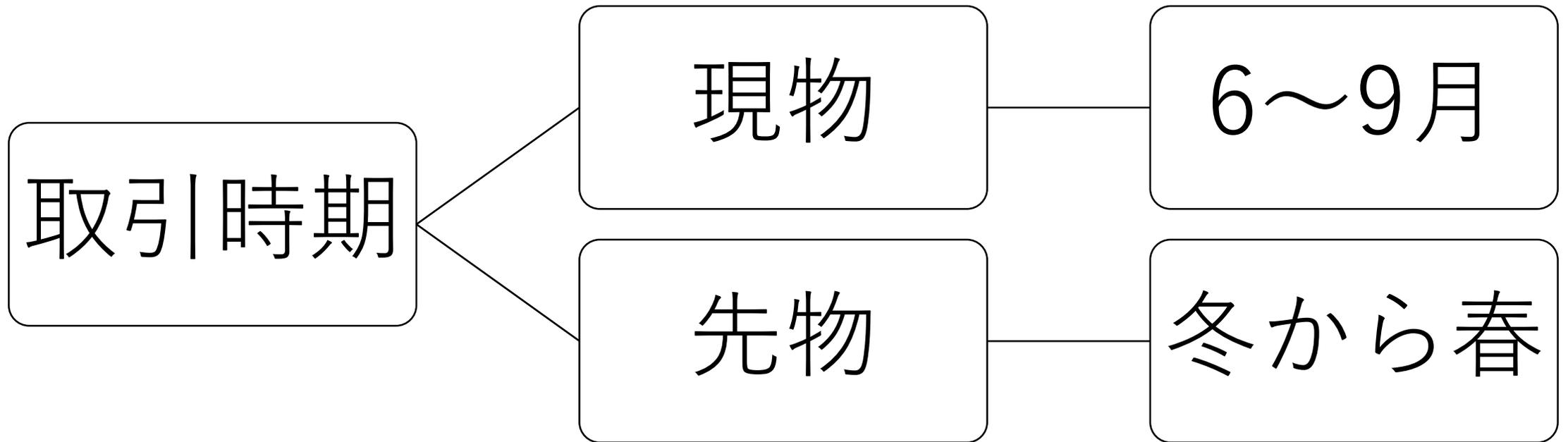
- ・合理的な説明
- ・花卉価格の自然変動
- ・批判
- ・法改正

○社会的バブルと遺産

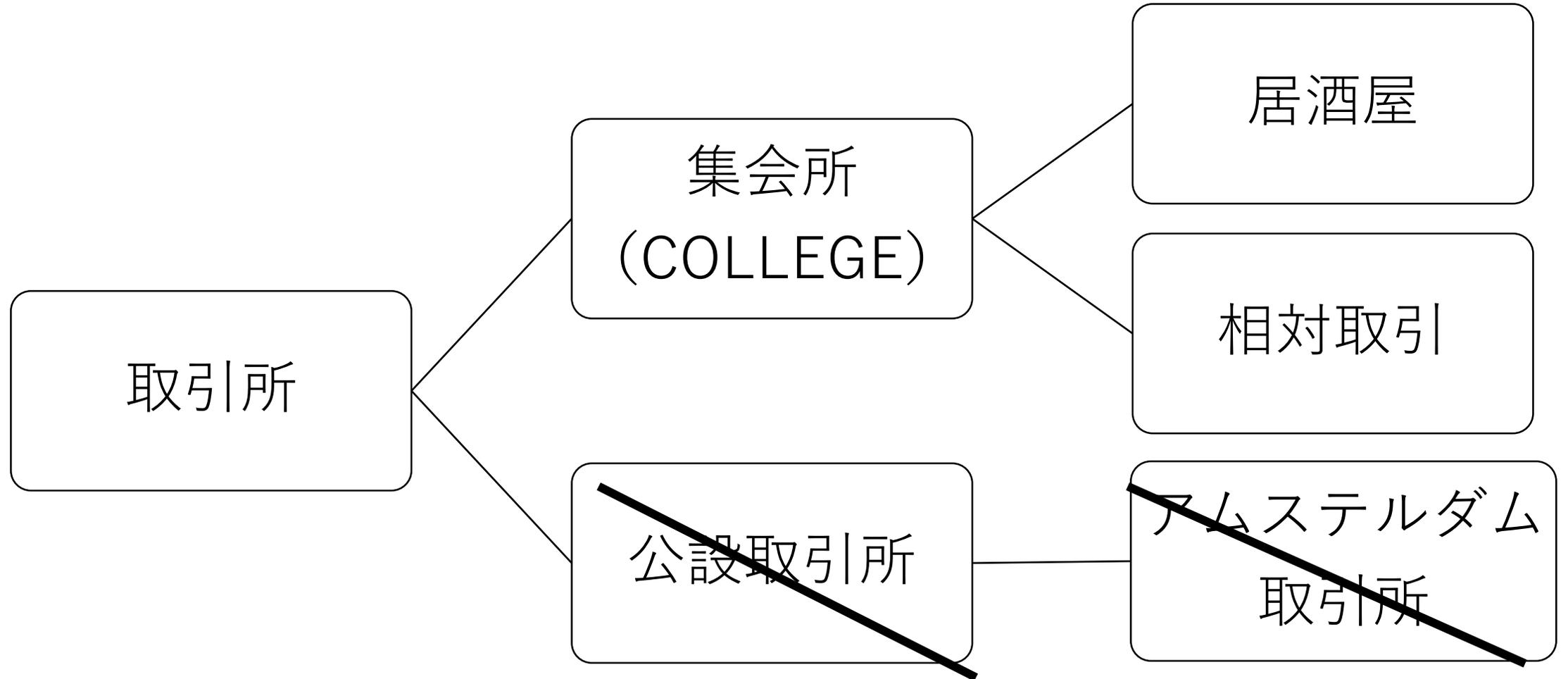
移入経路



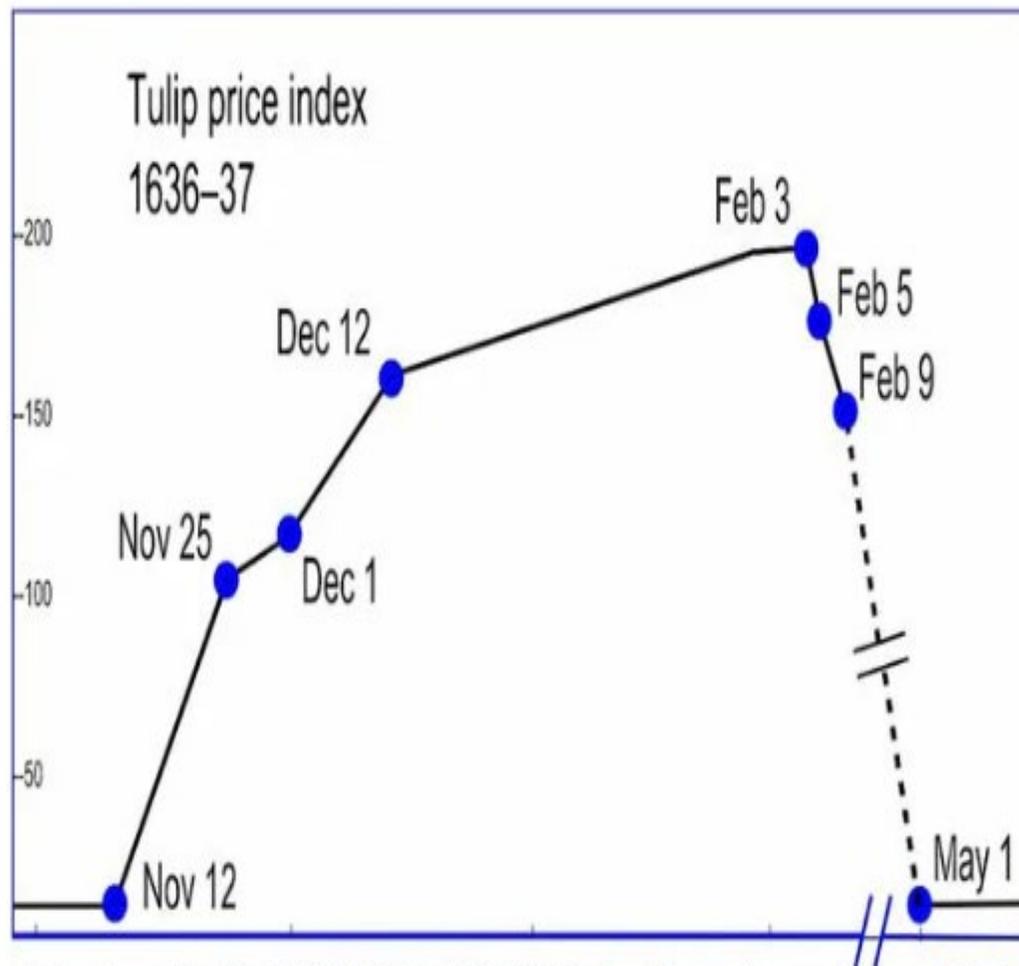
チューリップの取引時期



チューリップ取引の場所



チューリップバブルの推移



(図1: チューリップ・バブル時の高騰と暴落 / 出所: [Jay Henry - Own work from data of Thompson](#))

Wagon of Fools (愚か者の車)



チューリップ・バブルの紹介・著作

1797

ベックマン

**「発明、発見、
起源の歴史」**

1841

マッケイ

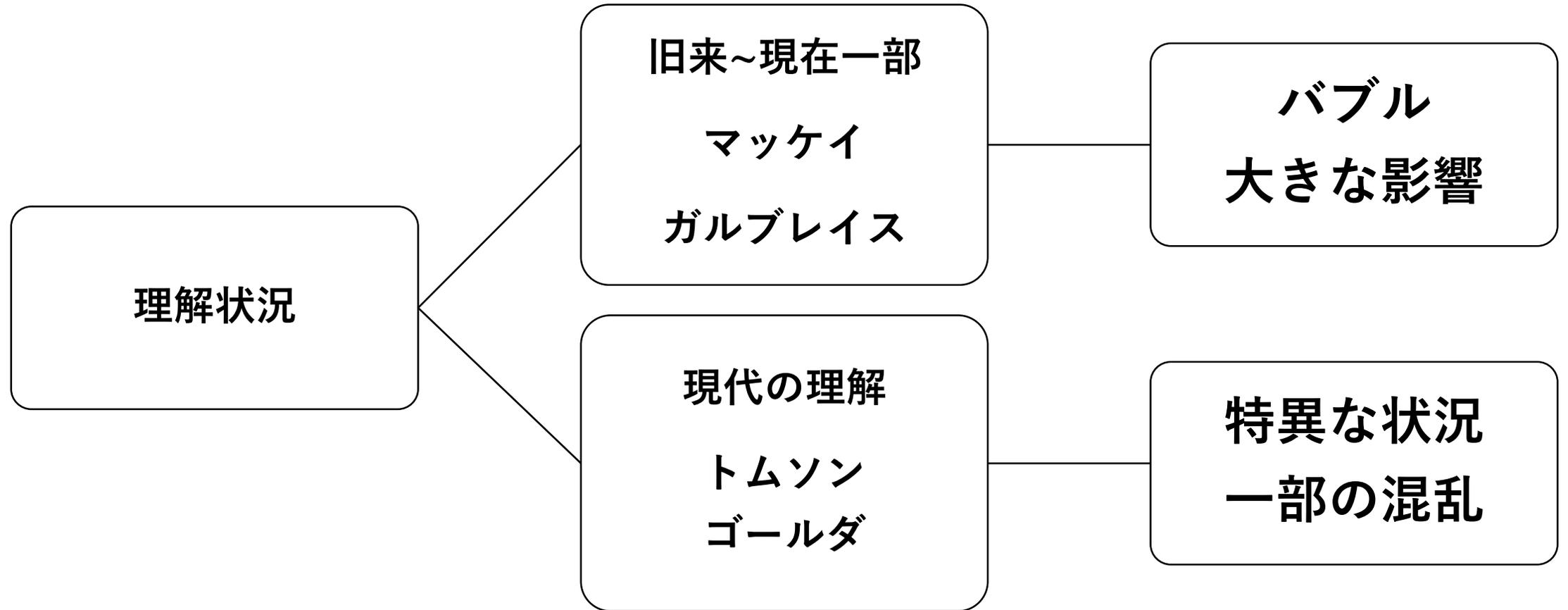
**「異常な大衆
の妄想と群衆
の狂気」**

2008

ガルブレイス

「バブルの物語」

チューリップ・バブルの理解



チューリップバブルの検証

現代の見解

①バブルの記述はプロパガンダ
風刺小説

②一部の人々(仲間内)の冬の
ゲーム
少額の所場代(上限3%)

③経済的打撃は非常に限定的

合理的な説明

- ①市場価格上昇は需要が原因
他の品種(ヒアシンスも同じ傾向)
- ②生産体制の整備

しかし、その他の見解もある。

- ①裁判所
賭博行為違法 救済しない
無法行為(仲間内の戯け事)
- ②先物取引
差額決済(幾ら高くてもよい)
- ③法令改正の情報漏れ
- ④マネーストックの増加

法改正（議会議法）

- 1637年2月24日決定
1636年11月30日以降
春先までに締結された
先渡契約をオプション
契約と解釈する。
- 取引参加者がこの情報を
事前に察知

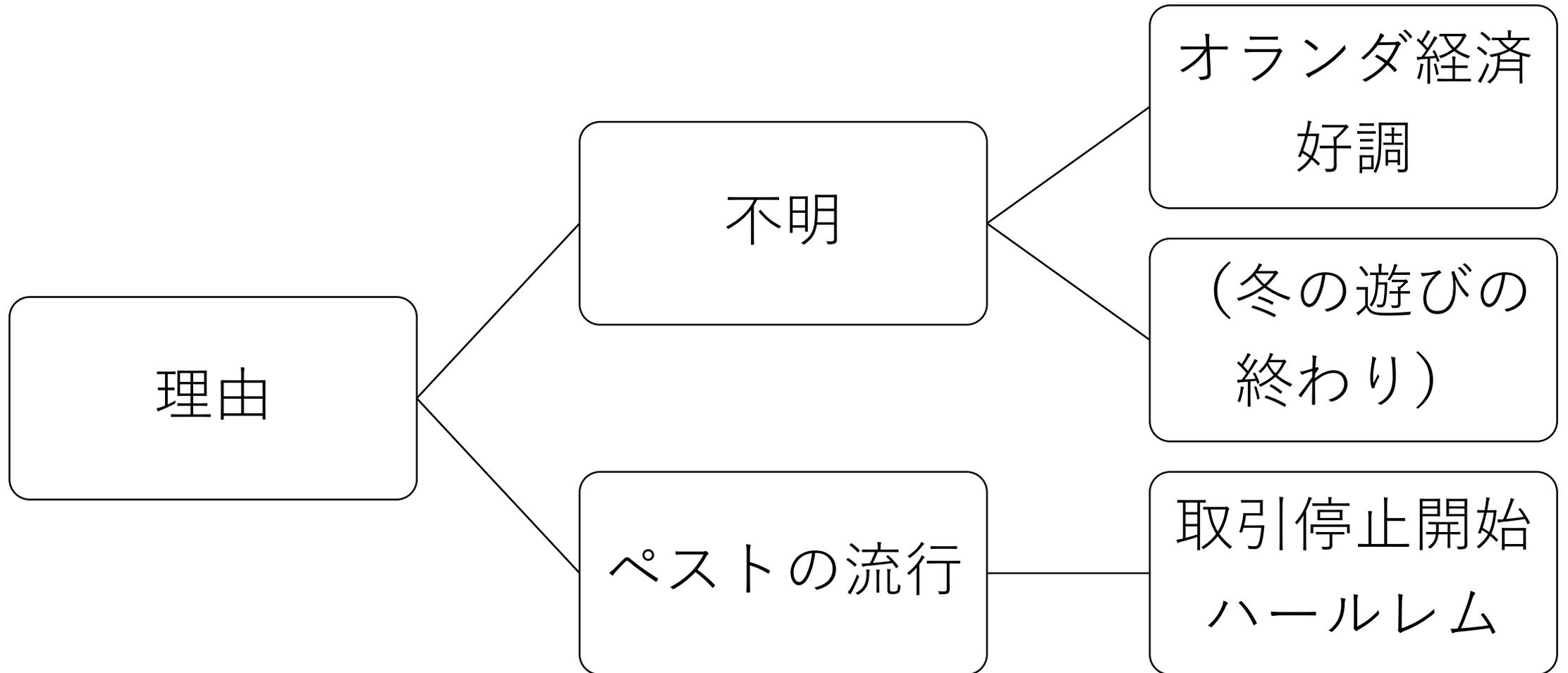
○効果

価格が購入者に不利
であれば、
手数料・プレミアム
を放棄すればよい。



購入約束価格は、幾
ら高くても許容

価格が崩壊した理由



社会的バブルと遺産

○マツケイの著作影響が続く反投機的パンフレット

○価格に対するトラウマとしてオランダ社会に存在する。

○最近のドットコムバブル、サブプライムローンの危機の際によく参照される。

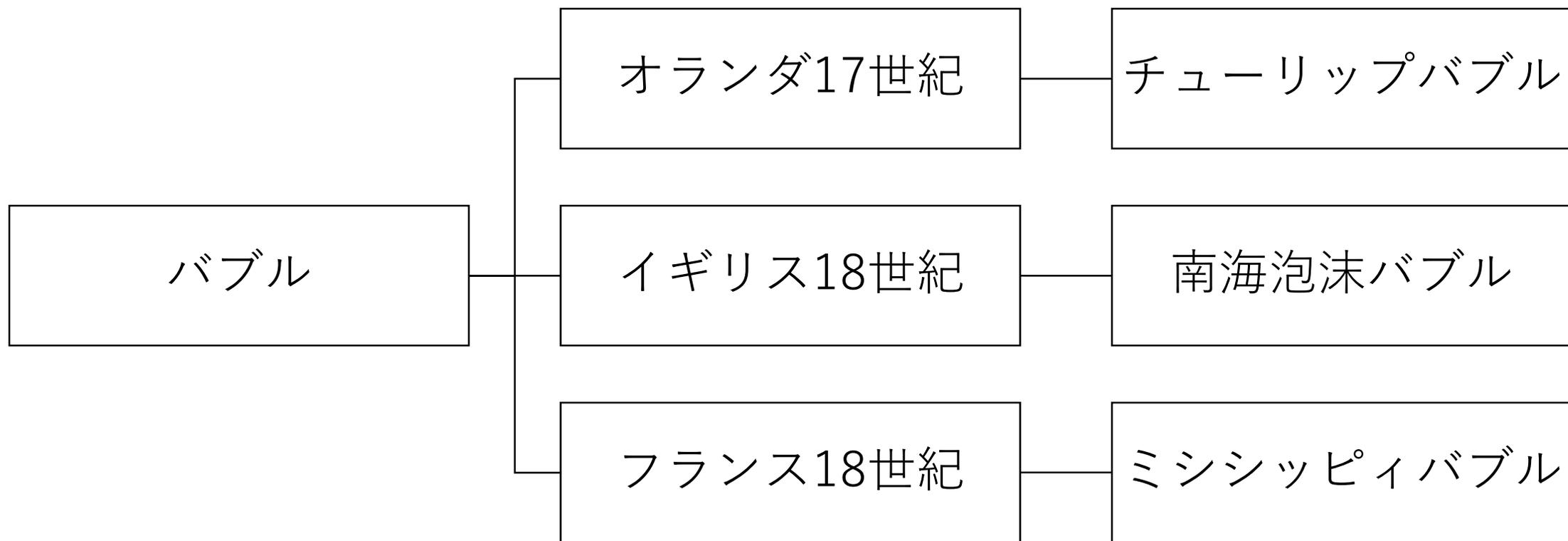
○暗号資産について言及される。



○効率的市場仮説による説明が正しければ、バブルから除く必要がある？

[参考]

世界三大バブル（近世）



南海泡沫事件（英）

○1720年株価暴落を機にイギリスの経済界と政界に大混乱をもたらした事件

○国債引受けと見返りに奴隷貿易権独占を与えられたので、会社の利益獲得が予想された。

○株価が急上昇したが、会社の実体は厳しいもの（船が一隻等）であったので期待外れとなり大暴落に繋がった。

○ニュートンも大被害（約4億円）

ミシシッピ・バブル(仏)

○1720年フランスで起ったアメリカ植民会社
にまつわる金融破綻事件

○スコットランドの投機業者 J.ローはミシ
シッピ川沿岸の植民開拓目的会社を設立し、
株を発行し、金・銀鉱脈が発見されたという
フェイク・ニュースを流した。

○株価は急上昇、株の購入には公債を必要と
したためフランス政府も悪乗り。

しかし、開発が進まないため株価が大暴落、
ローは逃亡する。